

研修会報告

令和元年 12 月 14 日

文責：学術副部長 阿部 武彦

研修会テーマ：臨床検査総合部門研修会

第 2 回 認知症を知る～はじめの一步～

「必要な認知症ケアの知識・神経心理検査の取り組み・認定試験対策」

開催日時：令和元年 12 月 7 日（土）14：00 ～17：00（受付 13:30～）

会場：坂総合病院（2 階） セミナー室

司会：坂総合病院 検査室 阿部 武彦

生涯教育点数 専門 20 点

参加者：会員 21 名 非会員 3 名（講師 1 名含む） 計 24 名

講師：①坂総合病院 認知症看護認定看護師 阿部 育実先生

②山形県立新庄病院 臨床検査主査 富樫 直美技師

③坂総合病院 検査室 阿部 武彦技師

【内容】

本研修会は本年度 6 月に開催された認知症研修会に引き続き 2 回目の研修会として開催しました。研修会の内容は第 1 部「認知症の理解とケア」、第 2 部「神経心理検査実施へ向けての取り組みについて」、第 3 部「認定認知症領域検査技師試験の直前対策」。これは認知症患者に携わる上で必要な認知症ケアのポイント。今後認知症検査に参入を検討している方へ参考になるような神経心理検査の実施に向けた取り組み。そして本年 12 月 22 日に実施される認定認知症領域検査技師試験の直前対策としてより実践的な内容としました。参加者の中心は 40 歳以上の参加者が多く、技師としては中堅からベテラン技師の新たな業務拡大として認知症への関心の高さが見受けられました。一方、他県からの参加者に比べ宮城県内からの参加者が少なく、県内ではまだまだ認知症への認知度が低い現状にあるようです。これは、具体的に我々検査技師が認知症にどのように関われば良いのか道筋がはっきりしていない事が要因ではないかと考えられます。

今後は、国の認知症施策の動向、最新の認知症医療、認知症の様々な取り組み事例等、各専門家から講義をして頂き、我々検査技師が他職種と共に認知症の分野で活躍できるような提案ができればと考えています。また、認知症当事者の背景や本人の思いに寄り添う視点に立ち、市民団体と連携を深め広く活動ができる人材育成にも繋げられる研修会の企画も検討し、会員からの意見や要望に沿うような研修会をこれからも開催していきます。尚、以下のご意見を頂いた中で、要望については今後改善に努めていきます。

- ・検査技師でもまだ知らない方が多い分野ですが、地道な活動に感謝いたします。今後も続けていただけたら幸いです。
- ・スライドの文字が小さくて見づらかった
- ・日臨技認定センターに事前申請し、承認研修会とすると良いと思う。

以上